

二期許すな、東峰裁判勝利

5.25 三里塚二期用地内で総決起集会



86. 5. 29

No. 2252

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

動労千葉は五月二十五日、三里塚菱田で開催された「東峰裁判闘争勝利、成田用水粉碎、二期着工実力阻止 五・二五全国総決起集会」に百七〇名の隊列をもって闘いぬいてきた。サミット直後の成田用水ぬき打ち着工など切迫する現地に全国から八千四百名が結集し集会終了後、東峰十字路まで六・五キロを整然とデモを貫徹した。

切迫する二期工事・東峰裁判へ総決起を！

成田運転区において駅長、白腕の集会妨害をはねのけ前段集会をかちとり、現地にむかった。昨年一〇・二〇、そしてサミットにおいて弾圧、戒厳体制をうち破られ、叩きのめされた機動隊は、四度も執着した検問を行ってきた。集会場に到着した時は、すでに北原事務局長の基調報告がなされており、直ちに集会へ合流した。

二期工事強行着工とともに、権力による反動判決が策動され、まさに切迫状況にある東峰十字路裁判について、救援会、弁護団、そして三君を守る会が「反動判決がひき出される情勢にある。無実を証明する」現地調査を実施し、地裁包囲闘争をふくめ、千葉市において一大運動をまさおこしていきたい、そして三被告を代表して笹川巳三夫氏が勝利するまで闘いぬく決意を述べられた。

闘う労働運動＝三里塚の闘いで 中曽根打倒へ

特別報告に動労千葉を代表して水野副委員長がたち「動労千葉は決戦をむかえた三里塚闘争を重大な決意をもって共に闘う。国鉄に おいても決戦をむかえ、国鉄法案が出されるもとで国鉄分割・民営化が既成事実としたマル生攻撃や、動労

革マルを先兵とした産報化など、闘う労働運動をつぶすための様々な攻撃がかけられてきているが、闘う労働運動を守り抜くことは職場を守り、さらには分割・民営化を許さないことであり、三里塚の闘いと全く同じである。三里塚―国鉄の闘いをもって中曽根の野望を打ち砕いていく」と決意を明らかにした。

敷地内は 最後まで闘う

今朝方までカブが植えられ、明日は産直のサツマイモの苗を植えるという畑を集会場に提供された鈴木幸司氏が「敷地内において自主耕作を闘いぬいている」そして、敷地内の六氏を代表して市東東市氏が「権力には一坪の土地も売らない最後まで闘う」と力強い決意を明らかにされた。その後、住民団体のあいさつで関西の地より、先日、関西新空港建設に反対する住民の代表として泉野市議選に権力、革マルをはじめとした反動勢力をぶちやぶり、見事当選を果たした国賀祥司氏がたち「軍事空港の新空港建設計画をひっくりかえすために頑張る」との決意があり、北富士、沖縄、小松をはじめとした住民、共闘団体のあいさつと決意表明が行われた。

二期工事用道路―駐車場建設をはじめとする二期強行策動粉碎の、そして、東峰十字路裁判闘争への決起を反対同盟は五〇七月決戦とし、闘い抜くことを訴えている。この反対同盟の訴えをわがものとし、共に総決起し、三里塚―国鉄決戦に勝利しよう。

